

実務経験証明書

法人の場合は登録している代表者印を、個人の場合は実印を押印します。

下記の者は、〇〇〇〇工事に関し、下記のとおり実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

平成××年××月××日

証明者が申請者以外の場合には、証明者の許可番号、業種、年月日を記入します。

証明者 株式会社 島根県 代表取締役 島根太郎 印

島根県知事許可（般-16）第〇〇〇〇号  
土木工事業、平成11年1月4日許可

被証明者との関係 従業員

現場に従事した実務経験の期間ではなく、雇用されていた期間を記入します。

技術者の氏名	出雲 良子	生年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日	使用された期間	昭和57年4月から 平成16年3月まで		
使用者の商号又は名称	株式会社 石見の国	実務経験を得た当時の商号又は名称。個人の場合は個人名（屋号を登記している場合には屋号）を記入します。					
職名	実務経験の内容				実務経験年数	(参考) 経験月数	
作業員	国道9号 道路改良工事	経験年数：7月-4月=3ヶ月です。 (1ヶ月未満の端数は切り捨てます。)		S57年 4月からS57年 7月まで		3	
主任技術者	国道9号 道路改良工事（第3期）	経験年数：3月-8月=7ヶ月です。		S57年 8月からS58年 3月まで		7	
営業所の専任技術者	〇〇川河川修繕工事外2件	短期間の複数の工事は、3ヶ月程度にまとめることができます。		H15年 4月からH15年 7月まで		3	

例) 短期間の複数の工事をまとめて記載する場合

工事名	4月	5月	6月	7月
〇〇川河川修繕工事	●	●		
◇◇地すべり対策工事		●	●	
△△砂防事業			●	●

例) 実務経験の期間を通算し経験月数を計算する場合

工事名	8月	9月	10月	11月	12月	1月
△△川河川修繕工事	●	●				
◇◇災害復旧工事		●	●			
▽▽林道復旧治山事業				●		●

作業員	△△川河川工事外1件	前の行の経験年数の終期と次の行の経験年数の始期が同じ月の場合には、以下のとおり経験年数を通算します。 経験年数：8月から1月まで=5ヶ月	H15年 8月からH15年10月まで		5
主任監督員	▽▽林道復旧治山事業		H15年10月からH16年 1月まで		
使用者の証明を得ることができない場合はその理由	経験年数はこの欄になります。 (右上の「使用された期間」ではありません。)		合計	満 1年 6月	18

使用者と証明者が異なる場合は理由を記入します。  
記入例) 平成〇年〇月 会社解散のため  
平成〇年〇月 事業主死亡のため 等

誤った記入の例

職名	実務経験の内容				実務経験年数	(参考) 経験月数
作業員	◇◇川 修繕工事			H2年 6月からH2年12月まで		6
作業員	▽▽地区 治山工事	×	「◇◇川 修繕工事」と期間が重複しています。重複計上は認められません。	H2年 6月からH2年 9月まで		
×事務員	県道〇〇線改良工事外2件	×	期間が短い工事について、このように1年間でまとめることは認められません。3ヶ月程度にまとめてください。	H10年 4月からH11年 3月まで		

建設工事の施工を指揮、監督した経験及び実際に施工に携わった経験及び技術を習得するための見習い中の技術経験も実務経験となります。また、発注者として設計に従事した経験や現場監督技術者としての経験も含まれますが、工事現場の単なる雑務や事務仕事の経験は含まれません。